

## 第2回鹿児島市多機能複合型スタジアム検討協議会

日時：令和5年10月18日（水）9時30分～11時30分

場所：SOHO鹿児島（鹿児島市役所みなと大通り別館6階）

### 会次第

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 事務局からの説明
  - (2) 意見交換
- 3 その他
- 4 閉会

### 意見概要

#### （J委員：専門家）

スタジアムの判断は最終的には地元の行政、住民の方々に決まるものだと認識しているが、エビデンスを揃えている進め方や若い世代の意見の取り入れは良いと考える。今後もエビデンスを揃えていただきたい。北九州のスタジアム等を実際に訪れ、周辺エリアの人流がどうなっているか、事務局の皆様の実例を見ていただきたい。

広島も以前、港にスタジアムを作る案があり、最終的にまちなかになった。港湾関係者がスタジアムにどういう意見を示されたか広島市に客観的にヒアリングしても良いかもしれない。「まちなか」「港湾関係者」という点で良い事例。

民間主導で進めていた議論を行政も入ってスタジアムの議論が活発になっているのは秋田。スタジアムとアリーナが同時進行で進んでおり、参考になるかもしれない。

以前のスタジアム整備の考え方は、駅から徒歩で10数分のところにスタジアムを整備し、人が滞留しないようにしたが、現在、時間差でスタジアムから退出するような手法が主流、駅に近くても良いと考える。ただ、駅からスタジアムまでの空間が楽しいと思えるのであれば良い。

バリアフリーデザインはきちんと取り組む必要がある。ユニバーサルデザインは禍根を残すので丁寧な議論が必要。

シャトルバスについて、商業事業者との連携を密に考えると、ホテルエリア、繁華街を經由地に設定することで回遊性を生み出すことができる。

#### （H委員：専門家）

先日、鹿児島ユナイテッドFCのJ1ライセンスが交付されたが、スピード感が重要と考える。今後の計画等があれば教えてほしい。

港湾計画等の変更で10年という長い期間がかかると報道で目にする。間に合うか心配。

#### （G委員：専門家）

稼働率の見直しの件で、60.3パーセントという数字はどう見るべきか。この数字から見えてくるものは何か。学生のワークショップや各種調査で様々な意見が出たと思うが、鹿児島

## 第2回鹿児島市多機能複合型スタジアム検討協議会

市が一番大切にしたい価値観というのは何か。軸となる部分について教えてほしい。

関係者用駐車場については、誰が使用することを想定しているか。ユニバーサルの観点で、配慮が必要な人に駐車場がないのは、反発も予想される。

(A委員：関係団体)

北ふ頭の交通量調査について、イベント時の数字ではなく平時の方が参考になるのではないかと。県、港湾関係者という関係者がいるなかで、10年でも難しいのではないかと。

災害があったときに橋1本だけでは安全面でも不安がある。また、港湾とスタジアムが一緒になるというのは非現実的な側面もあるのではないかと。

行政だけでは難しい、官民学で一体となって進めてほしい。また、何よりも場所の選定をしてほしい。

(K委員：学識経験)

観光資源としてのポテンシャルが非常に高い場所であるが、現状、立地を生かし切れていない。桜島が非常に近く、潮風・海風を感じられる。桜島を見ながら食事等ができるスタジアムになれば。また、多目的ホールは無目的ホールと言われる。多機能だから良いものではなく、全てが中途半端に終わる危険性も孕んでいるため、核となるシーンを決めて、そこから付随してできるものを探っていく考え方が重要。

(C委員：関係団体)

港湾関係者が一番重要。港湾関係者との協議はどのあたりまで進んでいるか。また、デッキを作るというのは画期的で良い考えと思う。港湾関係と人流・物流を分離する一助となる。場所に関しては早期決定を。様々なところが発展していくことが一番望ましい。人流・物流が活性化し、経済効果が生まれ、鹿児島の発展につながる。

港湾関係者と協議を継続し、進めてほしい。

(E委員：学生)

ワークショップに参加した中で、学生からもエンターテインメントが少ない中で、多機能複合型スタジアムやスタジアムに行くまでのストリートがにぎわうことが重要ではないか、という意見もあった。天文館や中央駅のまちづくりも重要。

港湾関係者の同意が得られていないことについて、どのような点で得られていないのか。

(H委員：学識経験)

港湾関係者の明確なポイントが捉えづらいところではあるが、人流・物流のことだと推測すると、時間帯ですみわけが可能ではないか。

ペDESTリアンデッキについては、歩いて楽しめるまちづくりという考え方が、都心化してきている鹿児島にとって軸になりえるポイント。

交通系ではエコシステム論というものがあるが、健康上の生涯教育、生涯スポーツとしても、歩けるまちづくりという考え方が非常に重要。

## 第2回鹿児島市多機能複合型スタジアム検討協議会

視察の際に、公共性が高く絶景なのに利用されていないことがもったいないと感じた。

生活航路自体を眺めることも観光資源にしながら、コンビニやカフェがあれば、人が普段から通しやすい場所になる。

イメージを持ちやすくするために、スタジアムの賑わいと生活航路の維持した絵を、グラフィックデザインとして表したらどうか。

(L委員：関係団体)

学生の意見を取り込む進め方に共感。夢やわくわく感を残したい一方、予算面等でもどのようなラインが現実的か。ペDESTリアンデッキや上屋の移設等、港湾機能と共存するうえで、当初と比べ予算面はどのように変わったのか。

(F委員：学生)

徒歩の移動は観光客にとって、風景を楽しむことであり、移動手段そのものが楽しむポイントであるとする。スタジアムまでの道中の活性化や、スタジアムで行うイベントを歩いてでも参加したいと思える魅力的なものにすることが重要。

地元の人も楽しめる工夫が必要。

スタジアムを作ったことにより渋滞の悪化や応援に伴う騒音の面等、周辺住民への配慮はどのように考えているか。

(D委員：学生)

ワークショップのアイデアについて、分かりやすい絵として示されており、とても良い。ポジティブに言うと学生や若者のわくわくする意見が詰まったものだと思うが、ネガティブに言うと実現可能性はあまり考えられていないと感じた。

(B委員：関係団体)

天文館もジョイントアーケードの建設準備中。金生通りのアーケードを作った時、天文館の商店街はアーケードが密集しており、鹿児島特有の気候に合わせたまちづくりとなっている。もっと街を歩いてもらうためにアプリの検討をした。

楽しく、ポイント還元もできる、というアプリを作って、市民に街を歩いてもらうということも広まれば良い。

(会長)

ユナイテッドもクラブとして、教育的な価値の創出の活動をされている。行政とユナイテッドとコミットして行ってほしい。

渋滞対策についてどのように考えているのか、また、水族館は市が経営していて30周年になると思うが、スタジアムと一体的に整備されるのか。